

おおさきかみじま

議会だより

第90号 令和7年10月17日発行



決まった主なこと	2
決算認定	3
8 議員が一般質問	4～12

委員会報告	13～14
研修報告	15
追跡・編集後記	16

決まった主なこと

第3回定例会(9月議会)

大崎上島町議会は、令和7年第3回定例会を令和7年9月9日火曜日から9日間の会期で開会しました。

8名で18件の一般質問、1件の報告、1件の承認、13件の議案、9件の認定、審議事項はすべて可決で閉会しました。

- | | |
|--------|---|
| 報告第8号 | 令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率報告書について |
| 承認第5号 | 専決処分した事件の承認を求めることについて【特別職の職員で非常勤のものの報酬など】 |
| 議案第38号 | 大崎上島町附属機関設置条例の一部を改正する条例について |
| 議案第39号 | 令和7年度大崎上島町一般会計補正予算(第2号) |
| 議案第40号 | 令和7年度大崎上島町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号) |
| 議案第41号 | 令和7年度大崎上島町介護保険事業特別会計補正予算(第1号) |
| 議案第42号 | 令和7年度大崎上島町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第1号) |
| 議案第43号 | 令和7年度大崎上島町港湾管理特別会計補正予算(第1号) |
| 議案第44号 | 令和7年度大崎上島町漁港管理特別会計補正予算(第1号) |
| 議案第45号 | 令和7年度大崎上島町交通事業特別会計補正予算(第1号) |
| 議案第46号 | 令和7年度大崎上島町下水道事業会計補正予算(第2号) |
| 議案第47号 | 財産の取得について【非常用浄水装置購入】 |
| 議案第48号 | 財産の取得について【大崎上島町立学校学習用端末購入】 |
| 議案第49号 | 財産の取得について【ストーブ購入】 |
| 議案第50号 | 財産の取得について【発電機購入】 |
| 認定第1号 | 令和6年度大崎上島町一般会計歳入歳出決算認定について |
| 認定第2号 | 令和6年度大崎上島町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について |
| 認定第3号 | 令和6年度大崎上島町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について |
| 認定第4号 | 令和6年度大崎上島町後期高齢者医療保険事業特別会計歳入歳出決算認定について |
| 認定第5号 | 令和6年度大崎上島町港湾管理特別会計歳入歳出決算認定について |
| 認定第6号 | 令和6年度大崎上島町漁港管理特別会計歳入歳出決算認定について |
| 認定第7号 | 令和6年度大崎上島町交通事業特別会計歳入歳出決算認定について |
| 認定第8号 | 令和6年度大崎上島町干拓地管理特別会計歳入歳出決算認定について |
| 認定第9号 | 令和6年度大崎上島町下水道事業会計決算認定について |

令和6年度 決算認定

決算特別委員会に付託された、全9会計の決算について3日間にわたり審議した結果、認定すべきものと決定されました。定例会最終日に、決算特別委員長から審査の経過及び結果が報告され、採決の結果、全会計の決算が認定されました。

会 計 名		歳 入	歳 出	実質収支
一 般 会 計		76億1,091万円	73億5,318万円	1億9,110万円
特別会計	国 民 健 康 保 険 事 業	8億5,620万円	8億3,369万円	2,251万円
	介 護 保 険 事 業	14億2,230万円	13億1,605万円	1億 349万円
	後期高齢者医療保険事業	1億9,790万円	1億9,685万円	105万円
	港 湾 管 理	2,364万円	2,353万円	11万円
	漁 港 管 理	378万円	358万円	19万円
	交 通 事 業	1億 321万円	1億 253万円	67万円
	干 拓 地 管 理	515万円	515万円	0万円
公営企業 会計		収 益	費 用	純 利 益
	下 水 道 事 業 会 計	4億3,203万円	3億7,916万円	5,287万円

※金額は千円以下を四捨五入しています。

※実質収支は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた額から、翌年度に繰り越す事業に充てるための財源を差し引いたものです。

決 算 特 別 委 員 会 報 告

委員長 森 ルイ 副委員長 下末 典和 委員 末光 透・赤松 良雄

決算特別委員会で審議した結果、町の財政状況および各課の予算執行状況はおおむね妥当と思われる、健全化判断比率・実質公債費比率・資金不足比率などの各種指標・基金の運用状況など、安定的な財政運営状況であるといえる。

過疎化・少子化が進行し、児童・幼児数は年々減少しており、更には、各事業所の求人不振等による事業や活動に対する担い手不足、地域行事の縮小等、人口減少による影響が各分野で深刻となっている。

人口減少に対する施策への早急な取組が必要であるが、限られた財源の中で、各種事業を展開していくには、事業の見直し、再編、縮小、改廃にまで踏み込んで、既存事業に組み込まれ固定化している財源と人材を流動化し、歳入減に備えると共に、新しい事業に必要な財源として備え活用していくために、第3次長期総合計画の中での位置付けや、事業の目的、取り組み内容、予算、成果、改善点等をまとめた事業評価シートの活用を検討していただきたい。

以上により、認定第1号令和6年度大崎上島町一般会計歳入歳出決算から認定第9号令和6年度大崎上島町下水道事業会計の決算について、全員一致で認定すべきものと決定したので、大崎上島町議会会議規則第77条の規定により報告します。

令和7年第3回定例会一般質問通告一覧表

議 員 名	質 問 事 項
(1) 水橋 直行	住民サービスに向けて
(2) 赤松 良雄	6月議会の一般質問の回答について
	町と学校の安全対策について
	県道・町道・農道等の維持点検について
	大崎上島町火葬場大峰苑の携帯電話・公衆電話について
(3) 末光 透	バリアフリースイレの整備について
	大崎海星高校の学生寮について
(4) 下末 典和	JA広島ゆたか合併について
	空き家問題について
(5) 渡辺 年範	東野上組トンネルの改良工事の進捗状況について
(6) 浜田 幸造	有害鳥獣被害防止対策モデル地区事業の成果は
	木江港湾の東川河口域の吸出し防止対策は
(7) 信谷 俊樹	介護保険について
	動物、管理制度（ネコ）について
	土地相続登記
	補助金・助成金の周知
(8) 森 ルイ	スマート海上バス「ゆき姫」の試験運航について
	主権者教育について

一般質問

町政を問う

8人の議員が18項目を質問



みずはし なおゆき 議員
水橋 直行

質問（水橋議員）

①昨年6月定例会の一般質問において、グリーンカードでフリー運賃割引をする仕組みを考えたい。長期総合計画策定に当たり正式に運航会社と協議を始めたところがあるが、長期総合計画も策定した現在、具体的に内容が見えない。現在どうなっているのか。

②安芸太田町で住民サービス用のため地域カードを町民に発行して、町内で買物等に利用できるサービスを知っているか。

③国が無料で配布しているマイナンバーカードが地域カードとして使えるが町内の保有率及び今後の見込みは。

問

住民サービスに向けて

答

DXで慎重な検討を進める

答弁（町長）

①木江地区造船海運振興協議会のメンバーとグリーンカードという共通券の在り方について意見を聞いていくところ。

関係運航会社の連携に始まり、どういう制度にするかという運営方法、負担など、一つ一つ課題を整理していきたい。

あわせて、国の関係機関とは指導を含め支援を頂戴しているが、さらに検討を進め、同様に支援を頂戴する考え。

答弁（地域経営課長）

②安芸太田町が発行する地域の電子通貨で、全住民に配付したmoricaカードをスマートフォンアプリと連携し、現金をチャージして町内の加盟店での買物やデマンド型公共交通で利用できる仕組みを備えており、

町が主催するウォーキングイベント等の参加者に地域通貨をポイントとして付与する事業も実施している。

答弁（住民課長）

③令和7年7月末時点で保有者5,597人、町民の約80%で今後の見込みは、現在マイナンバーカードを保有していない方は、主に外国人や意思を持って保有していない方々なので、大きな変動はないとの見込み。

質問（水橋議員）

国が無料で発行しているマイナンバーカードを利用し、グリーンカードで行おうとしているサービスや、わくわく元気ポイントさらには、おと姫カード等と連携し住民サービスの可能性が広がるサービスツールの導入などは検討する気はないのか。

答弁（企画課長）

本町が発行するわくわく元気ポイントや、商工会が行っているおと姫カードサービスとの連携による、地域通貨の導入については、住民サービスのさらなる拡充や地域経済の活性化に資する可能性を秘めているものと認識している。

答弁（町長）

前提の条件と、それと町民が必要としている内容をマッチングするような形で進めていきたいと思っており、DXで慎重な検討はこれから進める。

（水橋議員）

グリーンカードに関して、町民の方、大きな期待があると思う。フリー問題や橋問題に関しては、町民の皆さん大変興味のあることだと思う。これからは今はどうなっているかと質問します。色々ハードルがあると思うが、なるべく急ぎ足で進んでいっていただけることを願います。



あかまつ よしお
赤松 良雄 議員

場合は連絡し、医療機関や学校で周知を図る。

答弁（副町長）

職員がパンフレットを配布するだけでなく丁寧な対応に努める。

問

防災無線と子育て支援制度周知は

答

防災無線は調査し子育て支援は丁寧な説明をする

質問（赤松議員）

①依然と防災無線が受信できない家庭があるので、全世帯への原因調査と、徹底的な対策は。
②転入家庭が子ども支援制度を知らされていないので周知を徹底してほしい。

答弁（総務課長）

①調査方法を含め検討する。

答弁（健康福祉課長）

②必要な届け出がない

問

町と学校の安全対策は

答

法令に従い免許等を取得させ安全点検を実施する

質問（赤松議員）

①運転免許証の有効期限確認・アルコール検査・公用車の始業点検等は実施しているのか。安全管理を徹底すべきでは。

草刈りやチェーンソーなど講習が必須なので実施すべきでは。

②防犯灯（木柱）とカーブミラー腐食により倒れる危険性がある。見えにくい所があり、早急な点検・交換・補強すべきでは。

③時間外労働は60時間・80時間・100時間を超える

と医師の診断等がある。割増賃金が大幅に増える。過

労死の問題と健康管理は。

④下水道マンホールに入るための酸素欠乏危険作業の資格を取得しないと作業できない。職員の資格取得は。

⑤公園の遊具の点検は国交省の指針で専門家が点検すべきだが、定期点検は。

⑥非常灯が数か月切れたり、外灯も切れている。学校の設備や遊具の点検は誰がするのか。

⑦熱中症対策で製氷機、冷水機、ミストを小中学校に設置してほしい。

答弁（総務課長）
①運転免許は4月と10月の2回確認している。アルコール検査は徹底していないので徹底する。

安全管理で必要な免許は取得し定期点検をする。

②カーブミラーや電柱は役場が点検する。

③100時間の時間外労働をした人は選挙や財務会計で多忙で、法に準じて産業医の面談をしている。

答弁（環境衛生課長）
④酸欠資格取得者は2人。

質問（赤松議員）
県道は町内で51ヶ所木が

答弁（副町長）

④職員が免許や資格を取るように指導する。

答弁（地域経営課長）
⑤親水公園の遊具を年1回専門業者に委託して点検。

答弁（総務課長）
⑤定期点検ができていない場所は今後検討する。

答弁（学校教育課長）

⑥文部科学省の要領に基づき、毎月教職員が担当場所の安全点検を行い、不具合は管理職に報告・対応している。

答弁（教育長）

⑥学校の安全は重要であり、指摘事項は校長会等で周知し、現地確認も行う。日々の管理責任は校長にある。

⑦熱中症対策は有効なものは検討するが、有効性や安全性の見極めが必要。

答弁（町長）
⑦国の概要要求で関連メニューの中で検討課題とする。

質問（赤松議員）
火葬場は10年前から携帯電話が利用できない問題がありながら迅速な対応がされなかった。私が携帯3社の電話を持参し火葬場の上部に行くと受信できた。レピーターを設置すれば受信できることを課長に知らせ現在一部受信できている。公衆電話も設置すべきでは。

答弁（環境衛生課長）
一部はレピーター設置で改善した。公衆電話は今後検討する。

問
大峰苑の通信環境改善を

答

一部改善した

質問（赤松議員）

火葬場は10年前から携帯電話が利用できない問題がありながら迅速な対応がされなかった。私が携帯3社の電話を持参し火葬場の上部に行くと受信できた。レピーターを設置すれば受信できることを課長に知らせ現在一部受信できている。公衆電話も設置すべきでは。

答弁（環境衛生課長）

一部はレピーター設置で改善した。公衆電話は今後検討する。



すえみつ とおる 議員
末光 透

問

フェリー乗り場の
バリアフリートイレ整備は

答

今後バリアフリー化、
温水洗浄便座設置を検討していく

質問（末光議員）

海の玄関口である5つのフェリー乗り場「垂水港」「白水港」「大西港」「明石港」「天満港」について、バリアフリートイレは一部の港にのみ設置している。また、温水洗浄便座（ウォッシュレットなど）は一つもない。

「観光の振興」「高齢者支援の充実」「障害者支援の充実」を掲げる町として、観光客、高齢者、障がいをお持ちの方など皆さんが安心して住み続けることができるまちづくりの一環として必要ではないか。

答弁（建設課長）

「白水港」「大西港」「明石港」はバリアフリーのトイレが整備済み。「天満港」は改修工事を行ったがバリアフリーではない。

「垂水港」は民間の待合所につき状況を把握していない。

質問（末光議員）

「垂水港」は和式のトイレで、所有者（民間会社）へ改善などの調整が必要ではないか。

答弁（建設課長）

今後協議していきたい。

質問（末光議員）

「天満港」のバリアフリー対策は。

答弁（建設課長）

用地が狭いので別の用地が可能か検討する。

質問（末光議員）

「白水港」「大西港」「明石港」について温水洗浄便座の設置予定はあるか。

答弁（建設課長）

設置を前向きに考えたい。

問

大崎海星高校の
学生寮について

答

県教委に報告し、
高校存続に取り
組んでいく

質問（末光議員）

大崎海星高校の学生寮は、保護者より入寮基準が難しく近県の子供は寮に入れないと聞いた。「学習交流センター」は2018年に整備され今年30名の学生を受け入れている。

答弁（生涯学習課長）

1月下旬に希望者に入寮面接を実施、面接官4名で採点、上位10名を選出。今年度は広島県内2名、東京、神奈川等の県外生徒8名。北海道から鹿児島まで様々な地域から入寮実績がある。

質問（末光議員）

現在小学1年生が町全体で約20名。進学状況から考えると9年後には島内出身の在校生は1学年で5名程度になる。私の出身校、大崎高校は木江工業高校と合併して大崎海星高校になった。子どもたちが高校に進学する際、大崎海星高校が存続してもらわないといけない。今後の対策は。

答弁（生涯学習課長）

県教委の廃校基準を注視し、大崎海星高校の魅力化に最大限努力する。

質問（末光議員）

面接はどのように行うか。寮生の出身県は。



しもすえ のりかず
下末 典和 議員

問

J A広島ゆたか合併は

答

農協と連携して進める

質問（下末議員）
J A広島ゆたかとJ A広島市の合併が決まり、大崎上島町としては、どのように取り組んでいくのか。

ともに、柑橘をはじめとする本町のブランド化や販路拡大について、農協と連携して進める。

また、担い手の確保や地域営農の体制づくりも、農協と協議しながら進める。

合併のメリットを最大限に生かしつつ、大崎上島町ならではの農業が継続・発展できるように、取り組む。

（下末議員）
今後、変わらずに営農支援とともに一次産業の支援を求める。



問

空き家問題は

答

老朽化等に伴い非常に危険な家屋は条例に基づき助言等をする

質問（下末議員）

最近空き家が増え、一部老朽化して屋根瓦が下に落ちて、危険な状態だ。もし、人、車の上に落ちた時、大崎上島町としては、どのような対策を考えているのか。

答弁（建設課長）

近年、空き家戸数は増加している。本町の対策としては、現地を確認し、老朽化等に伴い非常に危険な家屋と判断した場合は、相続権を有する方、若しくは納税義務者

に対して、大崎上島町空き家等の適正管理に関する条例に基づき、屋根瓦が剥落し家屋や通行人に被害を及ぼす可能性があり、損害賠償責任など管理責任が問われる場合があり、建物の取り壊しなど継続保全の措置を行うなどの助言等を行っている。

除却に対して補助制度を制定しているので、その説明等も行っている。

（下末議員）

いまからは、人口減少に伴い非常に危険な家屋は増えると思われる。危険な家屋の把握をし、もしも人の上に落ちたら危険なので、せめて「上キケン」と示すコーンだけでも置く事を求める。



議会傍聴をしてみませんか。

次回の定例会は**12月**です

日程は町内放送・ホームページでお知らせします。

お知らせ

○本庁・各支所ロビーのテレビまたはインターネットで議会生中継がご覧いただけます。

※インターネットをご利用の場合はホームページの注目記事「〇〇議会ただいま生放送中」をクリックしていただければご覧いただけます。



わたなべ としのり
渡辺 年範 議員

問

東野上組トンネル 改良工事の進捗状況は

答

令和13年度に完成予定

質問（渡辺議員）

東野上組トンネルの改良工事は、令和3年3月定例会で議決されたが、未だに工事が進んでいない。町道の維持管理の必要性は、町民の要望はもちろん使える町道の確保また交付税にも関係してくるので、議会で議決されている以上速やかに執行すべきである。そこで次のことを問う。

予算及びその財源、工事が遅れている理由、完成時期及びトンネルはどのように改修されるのか。

答弁（建設課長）

初年度予算は1億6千万円を見込んでいた

が、現在物価及び人件費の高騰により3千万円増額の1億9千万円を見込んでいる。財源は国費が1億2千万円、過疎債が7千万円でその内約70パーセントが返ってくるので、町の負担は2千100万円程度と見込まれる。

工事が進まないのは地籍調査の測量成果が法務局に収められるのを待っているため。

令和3年度に道路の線形を決定する概略設計、令和4年度は道路の構造を決定する道路詳細設計、令和5年6年度は工事により影響が出ると思われる用地測量並びに用地調査を実施した。

用地買収のため用地交渉をするには用地の確認が必要で、ちょうど地籍調査が

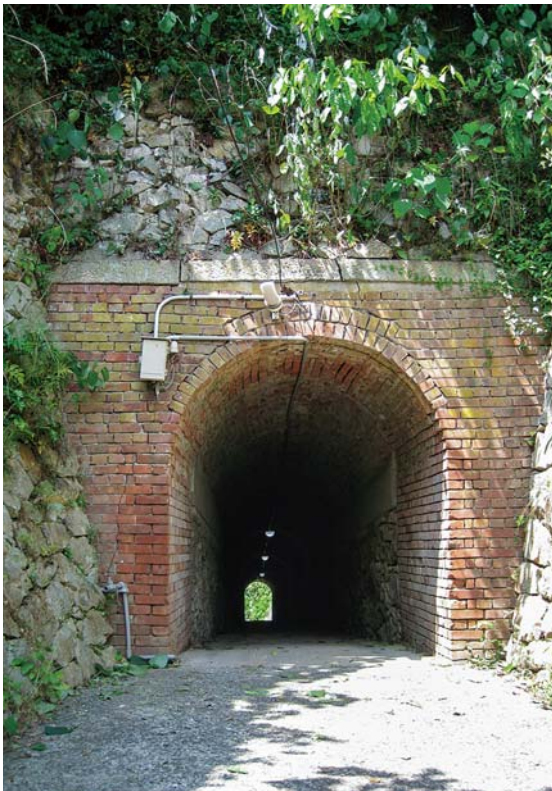
入っており、その座標を使用して土地買収に入りたい。従って、地籍調査の結果が法務局に収められる令和8年以後の令和9年に土地を取得し、令和10年から工事を着工し、令和13年度をめぐりに完成する計画である。道路はう回路として上組

から入ると左手の農道から山を越える道路となる。

現在のトンネルは耐震強度がなく崩壊の恐れがあるので、工事終了後、人もすべて通行止めとし出入り口の完全な閉鎖を考えている。土木文化財として後世に残すべきか専門家の意見を踏まえて教育委員会と協議し検討をしていく。

（渡辺議員）

完全閉鎖するとなれば文化財保護という意味もなくなる。今後そのことにつき検討して頂きたい。



2次元コードを読み取ることで
町議会の定例会・臨時会録画放送
を見ることができます





はま だ こうぞう
浜田 幸造 議員

問

有害鳥獣被害防止対策 モデル事業の成果は

答

現状の対策と併せて、
交付金の活用を検討していく

本事業は令和2年度から令和6年度にかけて、夫々当初予算で200万円計上し1,000万円かけて実施した事業だと思う。実施地区は令和2年度で本郷地区・令和4年度では原田地区（シトラスかみじま）を実施したと聞いているが、令和3年度・令和5年度・令和6年度はどこの地区を実施したのか、また事業内容と成果を聞かせて貰いたい。

イノシシの捕獲頭数は令和5年度で743頭・令和6年度で788頭と一向に減っていない。安心して農業経営ができる環境を作る

と共に、住民の安全の確保を図るため、今までイノシシの駆除・防護柵の設置などで被害予防対策を行ってきた。本年度においても当初予算で1,710万円計上されている。

国の交付金事業で「鳥獣被害防止総合対策交付金事業」が創設されているが、交付金事業の導入計画は。今後の被害防止対策は。

答弁（地域経営課長）

令和2年度は本郷地区で事業費約200万円を実施した。令和3年度については、原田地区で実施予定だったが新型コロナウイルス感染症の影響で実施を見送り、令和4年度・令和5年度で原田地区の「シトラスかみじま」において事業費17

0万円を実施した。令和6年度は、実施する地区の選定に至らなかったため実施できなかった。

事業内容と成果については、選定したモデル地区内において研修会を開催しながら、ワイヤーメッシュや電気柵を設置し、定期的に見回りや管理を行い、被害状況を共有し、対策をとっていくなど、地域ぐるみで有害鳥獣対策を行うことなど、農作物や生活環境への被害軽減に加え、情報の共有や防護柵の共同管理など対策の効率化が図られ、併せて地域の安全・安心の向上や農業経営の安定、さらには地域のコミュニティの結束強化にもつながるなど、多方面での成果があった。今後も、現状の対策と併

せ、鳥獣被害防止総合対策交付金の活用も検討しながら、有害鳥獣対策を積極的に取り組んでいく。



問

木江港湾の東川 河口域の吸出し 防止対策は

答

県に要望していく

質問（浜田議員）

背後地に元海運局・元NTT・木江会館が存在する東川河口域のコンクリート擁壁の老朽化が進み、コンクリートの打ち継ぎ目が大きくなり、横方向にはクラックが大きく走っており、

吸出しにより海水の出入り量が最近大きく目立っている。

町道東側4号線の元木江幼稚園から河口に向けて、町は令和5年度に22m、令和6年度に40mの張りコンクリートを行い、吸出し防止対策を実施しているが、県道大崎上島循環線から海岸までが未改修で、この区域の吸出しによる被害が心配される。今後の予防対策計画は。

答弁（建設課長）

県道大崎上島循環線より海岸までについては、港湾施設となっているので、県と協議しながら防止対策を要望していく。





信谷 俊樹 議員

質問（信谷議員）

介護保険料率の被用者保険の保険者ごとの納付額の算定法の変更改正法により割合が減額導入されているが、収支を単年度で均衡させた場合の均衡保険料率はどうなるのか。

答弁（健康福祉課長）

被用者の介護保険の保険料率は、単年度で収支を均衡にするよう、介護納付金の額を総報酬額で除したものを基準として、被用者保険の保険者と市区町村の国民健康保険間で、加入者数に応じて負担して頂いている。

問

介護保険料率は

答

加入者数で負担している

問

動物、管理制度（ネコ）は

答

感染予防を促す

質問（信谷議員）

管理出来ないなら餌などをやらない。又、管理出来ない猫などから次のような危険な伝染病にかかる可能性がある。

Q 熱・ブーノ・シス・ト キンプラズマ・猫回虫症など

行政広報なども利用しながら生命に係ることなので行政指導すべきでは。

答弁（環境衛生課長）

飼い猫は、飼い主の責務を果たすよう促す。感染症対策は、地域猫活動の団体と協力していきたいと考えている。

問

土地相続登記は

答

所有権移転登記手続義務化を指導する

質問（信谷議員）

土地相続登記が義務化され、怠れば過料となるが当町の現状を聞く。

相続不動産の取得をして3年以内に所有権移転手続き、引越して名義人の住所や名前が変わってから2年以内なら変更手続ができる。遺産分割されないまま10年間経過した、法定割合分の分割した事例などを聞く。

答弁（税務課長）

相続を知った日から3年以内に相続登記の申請をしなければならぬ。法定相続持分の登記案件は相談を受けていない。所有者不明土地問題と死亡手続きによる所有権移転登記手続義務化のパンフレットを配布している。

問

補助金・助成金の周知は

答

充実に努める

質問（信谷議員）

物価高騰のなか申請すれば補助金、助成金があったける政策が沢山あるが、どのように周知をしているのか。

例えば、省エネ家電購入補助金・緑化助成金・宅配ボックス補助金・住宅改修給付金などがあるがどのような周知対応しているのか。

答弁（企画課長）

暮らしやすさを目的とした、補助金ガイドを全戸配布し各制度の採択要件を分かりやすく掲載している。今後も広報の充実に努める。



スマホやタブレットに無料アプリ「マチイロ」をインストールすることで、いつでもどこでも議会だよりを読むことができます。ぜひ、ご利用ください。（※議会だよりは定例会後の発行のため年4回です。）



iOS



android





もり
森 ルイ 議員

問

スマート海上バス
「ゆき姫」の後は

答

観光への活用や
認知度向上に向け
調査研究していく

質問（森議員）

「ゆき姫」の試験運
航について伺う。

- ①事業の経緯、目的
- ②事業費、利用者数
- ③今後の方向性

答弁（企画課長）

①将来的な無人航行の
実現も念頭にAIを活用
した自動運航船シス
テムによる試験運航を
行うもので、季節ごと
の利用傾向やニーズの
違いを把握し、将来的
な交通インフラの可能
性を検証することが目
的。

②事業費は、昨年度の
試験運航第1弾が約3
840万円、第2弾が
約1,200万円です
それぞれ県費が1/2。第1

問

主権者教育の今後は

答

教育委員会、学校、
議会事務局と協議し、
検討していく

質問（森議員）

主権者教育について、次
のことを伺う。

- ①町立小・中学校における
主権者教育の現状と課題
- ②議員が学校に出向く出前
講座や議場見学
- ③子ども議会の開催
- ④若年層の主権者教育
- ⑤女性の政治参画の取組み
- ⑥子どもの権利条例の制定

答弁（学校教育課長）

①学習指導要領に基づき、
児童・生徒の発達の段階を
踏まえ、社会科等を中心に
指導が行われている。課題
は教員の企画運営力の育成、
学校現場の裁量と支援体制、

③竹原市長からも高速船が
休止になった航路や大久野
島への航路、イベントなど
一緒に考えていきたいと申
し出を受けている。

答弁（教育長）

子どもの主体性の育成機会
など。
②学校の年間行事予定もあ
るので、教育委員会や学校、議
会事務局等と協議検討する。

③大崎上島学を通じて子ど
もたちが自ら体験し、地域
と関わり、地域課題は認知
している。子ども議会が目
的になって本来の大崎上島
学が薄れることを危惧して
いる。オンラインも含めた
発表や執行部に提言する機
会について検討する。

答弁（総務課長）

③子どもたちが民主主義や
議会制度の仕組みを体験す
ることにより、政治や選挙
を身近に感じ、地域課題へ
の関心を高め、町とのつな
がりを実感する貴重な機会
である。議会事務局、教育
委員会、各学校と十分に協
議を行い、子供たちにとつ
て有意義かつ無理のない形
で開催できるかを検討して
いく。
④町内に所在する高等学校

と協議を行い、主権者教育
の講習会が開催できるかを
検討していく。

⑤地方自治体が女性の政治
参画を推進することは、地
域社会における多様な意見
を政策に反映させる上で極
めて重要であると認識して
いる。女性が政治に参加し
やすい環境整備をはじめ、
政治人材の育成や住民意識
に向けた取組を着実に進め
ていく。

答弁（住民課長）

⑤「政治分野における男女
共同参画の推進に関する法
律」は、平成30年5月に施
行され、令和3年6月に一
部が改正されたが、その背
景として、政治分野への女
性の参画が諸外国に比べ大
きく遅れていることが上げ
られる。町では研修や広報
など男女共同参画の啓発活
動を行っている。

答弁（学校教育課長）

⑥県内他市町の動向も踏ま
え、先進事例などの情報収
集に努める。

総務福祉文教常任委員会報告

委員長：進藤雅通 副委員長：森 ルイ
委員：末光 透 渡辺年範 関田大祐

令和7年9月議会までの
委員会での主要な調査、協
議事項及び、継続審議した
内容と事業内容の審議につ
いて報告します。

○税務課

Q・外国人課税実務研修と
は？

A・課税が始まる前の帰国
で、本来課税されるべき
住民税が残ってしまう事
例が全国的に問題なため、
外国人課税実務の研修に
参加する。

Q・滞納整理について

A・広島県西部県税事務所
の方と併任徴収制度を利用
させてもらい指導なり
一緒に協力し、その滞納
整理を進める体制は作っ
ている。

○住民課

Q・ふれあいの館の方向性
について

A・専門的な温泉法もある
ので、そういったところ
も加味して検討していく
Q・コンビニで住民票交付を
可能にするための費用は

A・約2,000万円ぐら
い、そのうち半分が国か
らの補助が受けられる。
月々のシステム利用料が
約45万円かかる。

○総務課

Q・行政評価委員会の立ち
上げについて

A・実際に町長が諮問しな
いといけない、町行政の問
題点があったのではないか
という事案が2件ある。

Q・行政評価委員会これ
は不当という判断が出て金
銭が発生した場合の対応は

A・賠償金を払わないとい
けないということになれ
ば、議会に諮らせて頂き
たいと思っている。

Q・非常用浄水装置とはど
ういったものか

A・不純物をろ過し、飲み
水に変えるようなもの。

○健康福祉課

Q・子育て中の親の悩み事
で、悩んでいる現状を伝
えられない親に対する対
応について

A・保健師が妊婦の時から

関わっている。妊婦の段
階から定期的に接触を
図って、声を上げられな
い方に対して支援体制を
整備していく。

Q・子ども・子育て支援金
の賦課・徴収は、子ども
家庭庁の設立に関しての
ものか

A・子ども家庭庁がいろい
ろな国の施策をするにあ
たって、負担金を徴収し
たいという話。

○学校教育課

Q・県主体でタブレット端
末の共同調達で島外業者
と随意契約という形に
なっているが、町内で調
達が可能な物は町内にと
いう手法は取れないのか

A・町内で出来ることは町
内でやっていくという方
針と認識している。

Q・学校給食費補助は、何
月から始めるのか

A・補助は年間分する。個
人に補助するのではなく、
給食センター自体に補助
する。

Q・クラブ活動などでの熱

中症対策は
A・冷水の設置やミスト扇
風機設置など何が有効か
検討していく。

○生涯学習課

Q・大崎上島文化センター
に設置しているAEDが
契約更新となるが、屋外
に設置するのか。

A・新たに屋外に設置する
場合は、当初予算の中で
やるべきだと思う。視野
にはきちっと入っている。

Q・放課後子ども教室の民
間活用に対する助成は出
来ないのか。

A・民間については、現時
点では話は聞きませんが、
近隣市町の情報収集をさ
せてもらおうと思う。

○インターネット差別書込
みに対するモニタリング
事業概要について

Q・法務局が強制的に削除
するのか？

A・町が削除要請を行い、
法務局がプロバイダーに
対して削除要請と監視を
行っている。

産業建設常任委員会報告

委員長：赤松良雄 副委員長：下末典和
委員：水橋直行 信谷俊樹 浜田幸造

令和7年9月議会までの
委員会を報告します。

各課から議案となる条例
案、補正予算案、事業や懸
案事項の説明を受け審議を
行いました。

○環境衛生課

Q・野良猫対策は

A・広島県動物愛護セン
ターが「地域猫活動ガイド
ライン」で「地域猫活動」
を実施しています。

野良猫の不妊去勢手術、
餌のやり方やフンの始末な
どルールを定めて管理、野
良猫によるトラブルを減ら
し、不幸な野良猫の数も減
らす活動です。

町の地域猫活動は東原下、
本郷、片浜、大西2ヶ所、
向山2ヶ所、長島、原田2
ヶ所、大串、古江、小原の
合計13ヶ所です。

登録数は234匹その内
不妊去勢数は186匹です。

一部議員から「責任を持
たれない人は動物を飼わな
いようにしてほしい。」「不
妊去勢手術を実施する費用
が掛かるので補助してほし

い。」と要望がありました。



○地域経営課

Q・野賀海水浴場改修工
事は。

A・施工方法変更で積算中
野賀海水浴場の改修工事
は施工方法・施工箇所に変
更があったため、積算を行
い11月に入札予定です。



Q・レモンとミカンの出荷
額は。

A・生産者が農協に出荷し
た額は次表のとおりです。

単位：千円

品種	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
早生	88,680	77,969	62,082
中晩柑	48,774	49,277	37,134
レモン	124,016	151,213	121,279



令和4年度から令和5年
度で減っている要因は生産
者の高齢化、猛暑、寒波の
ためです。

○企画課

事業の説明

★企業誘致した企業の敷地
内水道管の径を拡張する工
事の補助金 109万円
★海上バスゆき姫試験運航
1207万円+199万円
追加し1406万円に



○建設課

事業の説明

★元町住宅PC床板架設
492万円
★大楡住宅駐輪場建替
343万円
★町営さざなみ空調改修
64万円

議員研修報告

● 広島県町議会議員研修会

研修日 令和7年8月20日 13:30～

研修場所 メルパルク広島

演題 「顔で話せ！相づちで話せ！質問で話せ！」

講師 フリーアナウンサー 庄司麻由里氏



〔研修で学んだこと〕

「語尾をはっきり話すと相手にも伝わりやすい」「小学5年生から中学生ぐらいにわかるように話すと意思が伝わりやすい」など元アナウンサーの経験を活かしたプロの指導を受けた。

「人前で話すときは十分な準備が必要」という指導が特に印象に残り、教わった多くの内容は今後の活動で活かしたいと思う。

● 町村議会広報研修会

研修日 令和7年8月28日 13:00～

研修場所 渋谷公会堂

演題／講師 ①インタビュー記事を足して読まれる記事にしよう／

インタビューライター 丘村奈央子氏

②スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本／

映像講師 渡川修一氏

③議会活性化と連動した広報誌づくり／

福岡県大刀洗町議会広報委員長 平山賢治氏

〔研修で学んだこと〕

演題①

聞き手の役割りとして本質を聞き出す手法や問題点の掘り起こしなど、議員活動に役立つ内容だった。

演題②

写真や動画を撮影する際の構図やSNSで配信することを考えた撮影方法などを教わり、大変興味深かった。

演題③

議会改革と併せて広報誌の充実を進められていた。大崎上島町議会でも議会運営委員会と広報調査特別委員会で連携して、町民にわかりやすい広報にしていきたいと思う。



追跡 あれからどうなった

(令和7年2月定例議会一般質問から)

質問

大串の県道整備による盛土で土圧をかけているが、アスファルトにひび割れが沢山出てきている。補修を検討することはないのか。

回答

盛土を行って、今後30年ぐらいは沈下が続くという話もある。ひび割れの補修は行う。

その後の経過

盛土により現在の道路の高さまで嵩上げを行い、道路幅員の拡幅を行う工事を継続していく計画であるが、盛土後3年から5年は沈下が考えられるので、継続して整備を行っていきます。

ひび割れの補修舗装については、完成しております。



編集後記



10月になりましたが、まだ日中は熱気が残り、今年は秋らしさが少し遅いように感じます。今号の表紙は、大崎上島町産レモン農園の風景を撮影しました。黄色く色づく前のグリーンレモンはさわやかな香りが特徴です。

さて、令和7年第3回定例会が終わり、今回は8人の議員が一般質問を行いました。一般質問とは議員が町政に対して質問を行うもので、年に4回開催される定例会において行われます。

新人議員2名を加えたフレッシュな顔ぶれで、議会の模様はYouTubeでご覧いただけます。

今回より一般質問の動画に見出し(チャプター)が

付いて、各議員の一般質問が見やすくなりましたので、ぜひご覧ください。

役場内の議場にも多くの方に傍聴にいらしていただきました。皆様の期待にこたえるよう、これからも町民が安心安全で豊かな暮らしを営めるよう、きめ細かな活動を目指してまいります。

議会だよりを編集する議会広報委員会では紙面を読みやすく、議会の内容にご興味を持っていただけるようお伝えしてまいります。ぜひご意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

(末光 透)

大崎上島町議会

TEL(0846) 65-3130(直通)

FAX(0846) 65-3117

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

URL:<https://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp/>

議会広報委員

委員長 森 ルイ
副委員長 末光 透
委員 赤松良雄
委員 水橋直行
委員 進藤雅通
委員 下末典和